

千葉県は地方創生 SDGs 登録・認証制度である「ちば SDGs パートナー登録制度」を創設した。本登録制度を機に県内の SDGs の取り組みを加速したい。

千葉県は、企業などによる SDGs の機運醸成と具体的な取り組みを後押しするため、地方創生 SDGs 登録・認証等制度である「ちば SDGs パートナー登録制度」を創設した(11月25日)。

今回の登録制度は、県内に事務所などを置く企業、団体、個人事業主などが対象で、経済・社会・環境の三側面から目標を設定し、具体的な取り組みを推進することが要件(図表1)で、まだ SDGs の取り組みを行っていない企業(申請を機に取り組む企業)も申請が可能など、登録へのハードルは低く設定されている。登録事業者は、千葉県のホームページへ SDGs 達成に向けて積極的に取り組んでいる先として掲載されるほか、チーバくんを活用した独自の SDGs シンボルマークを名刺や会社案内等へ使用することができるなどのメリットがある。

(図表1)ちばSDGsパートナー制度の対象、要件、メリット

対象	県内に事務所等を置く企業、団体、教育機関、学校法人、NPO法人、個人事業主など
要件	① 環境・社会・経済の3側面において、具体的な取り組みを推進すること ② 各取り組みについて、具体的な目標が設定されていること ③ 暴力団ではないこと(つながりがないこと)
メリット	① SDGs取組企業・団体として県ホームページへ掲載 ② チーバくんを活用したSDGsシンボルマークの利用※が可能

(出所)千葉県ホームページよりちばぎん総合研究所が作成
※商品自体への掲載不可など利用条件あり

地方創生 SDGs 登録・認証等制度は、内閣府が、地方創生を進めるために地方自治体に制度構築を促している。SDGs に積極的に取り組む事業者等の「見える化」を行うことで、金融機関や様々なステークホルダーとの連携を促進し、それを通じて SDGs の進展を後押しし裾野を拡大することを目的としている。制度は、「宣言」、「登録」、「認証」の3段階に分かれており、自治体は、いずれかもしくは複数を組み合わせて制度設計を行う。近隣都県では、既に取り組みが始まっており(図表2)、千葉県だけが取り残された状態になっていたため、県内の SDGs 普及に向けて今回の登録制度創設の意味は大きい。

(図表2)近隣都県の地方創生SDGs登録・認証等制度一覧

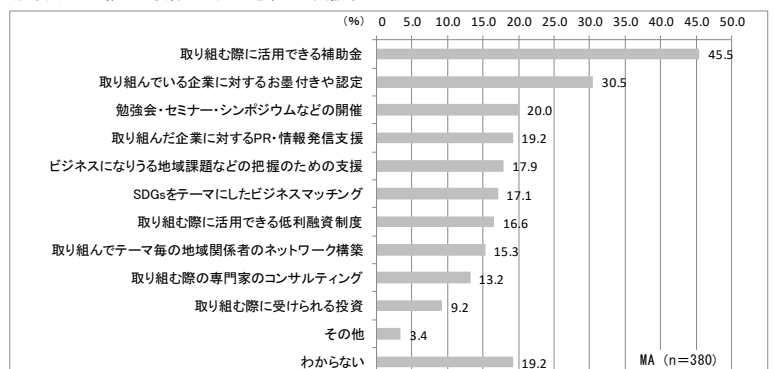
都道府県	市区町村	制度モデル	制定時期	名称
神奈川県	-	登録	2019年度	かながわSDGsパートナー
神奈川県	横浜市	認証	2020年度	Y-SDGs
栃木県	-	登録	2020年度	とちぎSDGs推進企業登録制度
埼玉県	-	登録	2020年度	「埼玉県SDGsパートナー」登録制度
茨城県	つくば市	宣言	2021年度	つくば市SDGsパートナーズ
埼玉県	さいたま市	認証	2021年度	さいたま市SDGs企業認証制度
東京都	東村山市	宣言	2021年度	東村山市わたしたちのSDGsパートナー認定制度

(出所)各自治体ホームページなどよりちばぎん総合研究所が作成

本登録制度の中心となる県内企業に対して、当社が6月に実施したアンケート調査(図表3、回答企業380社)では、SDGs に既に取り組んでいる先(取り組もうとしている先含む)は2割強とまだ少ない中で、「SDGs 推進の後押しになると思われる支援策」では、「取り組んでいる企業に対するお墨付きや認定」が全体の2位に位置しているため、今回の制度創設が役立つことが期待される。

県は今後、登録事業者同士のマッチング機会を設けることを検討するなど、本登録制度の更なる発展を目指しているが、さらに踏み込んで神奈川県の「SDGs パートナー支援融資」のように低利な県制度融資等の創設など、資金面でのメリットなども追加して欲しい。そして、これを機に千葉県内に SDGs の取り組みの輪が広がり、地方創生に繋がっていくことを期待したい(長島)。

(図表3)SDGs推進の後押しになると思われる支援策



(出所)ちばぎん総合研究所